

資料提供	
令和4年8月18日	
担当課 (担当者)	観光戦略課 (濱本・堀本)
電話	0857-26-7421

令和3年観光客入込動態調査結果の公表しました

令和3年観光入込動態調査結果を取りまとめましたので公表します。

(とりねっとホームページアドレス) <https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=70595>

1 令和3年観光客入込動態調査結果(抜粋)

・観光入込客数(実人数)	: 6,292千人	(比較: 令和2年比+557千人、+9.7%・令和元年比▲3,836千人、▲37.9%)
・観光入込客数(延人数)	: 12,352千人	(比較: 令和2年比+18千人、+0.1%・令和元年比▲9,976千人、▲44.7%)
・県外客数(実人数)	: 3,054千人	(比較: 令和2年比▲248千人、▲7.5%・令和元年比▲3,046千人、▲49.9%)
・県内客数(実人数)	: 3,238千人	(比較: 令和2年比+805千人、+33.1%・令和元年比▲790千人、▲19.6%)
・宿泊者数(実人数)	: 1,829千人	(比較: 令和2年比+101千人、+5.8%・令和元年比▲539千人、▲22.8%)
・温泉地入湯客数	: 590千人	(比較: 令和2年比▲97千人、▲14.2%・令和元年比▲464千人、▲44.1%)
・外国人宿泊者数(延べ)	: 11,030人泊	(比較: 令和2年比▲23,320人泊、▲67.9%・令和元年比▲173,570人泊、▲94.0%)

2 各詳細データと分析

(1) 県外県内別観光入込客数(実人数)

令和3年の観光入込客数(実人数)は6,292千人となり、平成10年の調査以来過去最低を記録した令和2年と比べ増加となったものの、引き続き新型コロナの影響を受け、過去2番目の低水準となった。

県外・県内客の別では、緊急事態宣言等や行動自粛の影響を受け県外客が減少し、We Love 山陰キャンペーンにより県内客は令和2年と比べ増加した。

(単位: 千人、%)

区分	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
県外	3,054	48.5	3,302	57.6	▲248	▲7.5
県内	3,238	51.5	2,433	42.4	+805	+33.1
合計	6,292	100.0	5,735	100.0	+557	+9.7

(過去10年間ワースト5…R2: 5,735、R3: 6,292、H29: 9,543、H30: 9,646、H26: 10,084)

(2) 県外県内別観光入込客数(延人数)

延べ人数についても県外客が減少し、県内客が増加となった。

(単位: 千人、%)

区分	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
県外	7,819	63.3	8,782	71.2	▲963	▲11.0
県内	4,533	36.7	3,552	28.8	+981	+27.6
合計	12,352	100.0	12,334	100.0	+18	+0.1

(3) 県外・県内別入込客平均訪問観光地点数の推移

新型コロナの感染防止のため、令和2年よりも訪問地を絞って旅をする傾向が伺える。

区分	R3	R2	R1	30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
県外客	2.56	2.66	2.65	2.54	2.37	2.21	2.14	2.10	1.89	1.81	1.77
県内客	1.40	1.46	1.53	1.52	1.48	1.39	1.34	1.33	1.26	1.28	1.24

(4) 地域別観光入込客数(実人数)

境港周辺及び奥日野周辺エリアを除く7エリアで前年より増加となった。

大山周辺、浦富海岸・岩井温泉周辺、八頭周辺エリアなどは密を避けて楽しめる屋外型の施設等(スキー場、海水浴場など)で増加がみられた。

(単位：千人、%)

広域エリア名	令和3年		令和2年		前年(令和2年) との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	1,870	29.7	1,708	29.8	+162	+9.5
浦富海岸・岩井温泉周辺	351	5.6	314	5.5	+37	+11.8
八頭周辺	561	8.9	497	8.7	+64	+12.9
とっとり梨の花温泉郷周辺	785	12.5	772	13.5	+13	+1.7
東伯耆周辺	480	7.6	474	8.3	+6	+1.3
米子・皆生温泉周辺	689	11.0	566	9.9	+123	+21.7
境港周辺	506	8.0	514	9.0	▲ 8	▲ 1.6
大山周辺	891	14.2	724	12.6	+167	+23.1
奥日野周辺	159	2.5	166	2.9	▲ 7	▲ 4.2
合計	6,292	100.0	5,735	100.0	+557	+9.7

(5) 発地別観光入込客数(実人数)

県外は主要なターゲットである近畿、中国地方を含め全ての地域からの観光客数が減少している。

一方で、県内観光客は3,238千人(対前年+805千人、+33.1%)となり、We Love 山陰キャンペーンにより県内の観光需要の喚起に効果があったものと考えられる。

(単位：千人、%)

地域名	令和3年		令和2年		前年(令和2年) との比較	
	人数	構成比 (県外構成比)	人数	構成比 (県外構成比)	増減数	増減率
北海道・東北	19	0.3(0.6)	24	0.4(0.7)	▲ 5	▲ 20.8
関東	254	4.0(8.3)	281	4.9(8.5)	▲ 27	▲ 9.6
中部	153	2.4(5.0)	169	2.9(5.1)	▲ 16	▲ 9.5
近畿	1,240	19.7(40.6)	1,381	24.1(41.9)	▲ 141	▲ 10.2
中国	1,193	19.0(39.1)	1,206	21.0(36.5)	▲ 13	▲ 1.1
四国	133	2.1(4.4)	165	2.9(5.0)	▲ 32	▲ 19.4
九州・沖縄	62	1.0(2.0)	76	1.3(2.3)	▲ 14	▲ 18.4
県外計	3,054	-	3,302	-	▲ 248	▲ 7.5
県内	3,238	51.5	2,433	42.4	+805	+33.1
合計	6,292	100.0	5,735	100.0	+557	+9.7

(6) 月別観光入込客数(実人数)

新型コロナの感染拡大による都市部を中心とした緊急事態宣言等の影響により1月～2月、8月～9月は前年同月比で減少となった。5月はゴールデンウィークの繁忙期において、令和2年に休館措置をとる施設が多かったが、令和3年度は通常営業でき、増加率が大きくなった。

(単位：千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R3	359	380	522	470	565	437	554	584	529	661	740	491	6,292
R2	556	488	512	219	198	349	458	607	574	634	708	432	5,735
R1	637	502	705	886	1,096	661	848	1,588	793	819	903	690	10,128
増減数 対R2	▲197	▲108	+10	+251	+367	+88	+96	▲23	▲45	+27	+32	+59	+557
増減率 対R2	▲35.4	▲22.1	+2.0	+114.6	+185.4	+25.2	+21.0	▲3.8	▲7.8	+4.3	+4.5	+13.7	+9.7
増減数 対R1	▲278	▲122	▲183	▲416	▲531	▲224	▲294	▲1,004	▲264	▲158	▲163	▲199	▲3,836
増減率 対R1	▲43.6	▲24.3	▲26.0	▲47.0	▲48.4	▲33.9	▲34.7	▲63.2	▲33.3	▲19.3	▲18.1	▲28.8	▲37.9

(7) 月別宿泊者数（実人数）

年間合計では前年と比較し増加となったものの、新型コロナの感染拡大による都市部を中心とした緊急事態宣言等の影響により1月～2月、8月～9月は前年同月比で特に減少率が大きくなった。

(単位：千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R3	96	108	179	137	132	122	179	159	126	182	215	194	1,829
R2	171	177	151	57	37	84	145	177	145	190	223	171	1,728
増減数	▲75	▲69	+28	+80	+95	+38	+34	▲18	▲19	▲8	▲8	+23	+101
増減率	▲43.9	▲39.0	+18.5	+140.4	+256.8	+45.2	+23.4	▲10.2	▲13.1	▲4.2	▲3.6	+13.5	+5.8

※出典：「宿泊旅行統計調査」(観光庁)

(8) 利用交通機関別観光入込客数（実人数）

自家用車移動が県外客は約7割、県内客は約9割と多くを占め、県外客の自家用車利用は昨年と比べて構成比が3.5ポイント上昇している。一方で、県内・県外ともに貸切バスを使った移動の構成比が減少しており、新型コロナの感染拡大により、自家用車での移動を選ぶ傾向がますます表れていると思われる。

(単位：千人)

交通機関	令和3年				令和2年				増減数	
	県外		県内		県外		県内		県外	県内
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
貸切バス	99	3.2	34	1.1	144	4.4	37	1.5	▲45	▲3
路線バス	135	4.4	36	1.1	166	5.0	27	1.1	▲31	+9
列車	244	8.0	25	0.8	295	8.9	17	0.7	▲51	+8
飛行機	149	4.9	-	-	173	5.2	-	-	▲24	-
自家用車	2,199	72.0	2,981	92.1	2,263	68.5	2,259	92.8	▲64	+722
タクシー	16	0.5	2	0.1	21	0.6	1	0.0	▲5	+1
その他	212	6.9	160	4.9	240	7.3	92	3.8	▲28	+68
合計	3,054	100.0	3,238	100.0	3,302	100.0	2,433	100.0	▲248	+805

(9) 温泉地入湯客数（入湯税から算出）

令和3年は前年と比較し97千人の減となった。温泉地へのコロナの影響を見ると、令和2年は3月中旬までは影響がなかったのに対して、令和3年は1年間を通じコロナの影響も受け、入湯客について比較すると令和2年より減少した。

(単位：人、%)

温泉地名	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
鳥取温泉	52,416	8.9	48,434	7.1	+3,982	+8.2
吉岡温泉	8,805	1.5	11,619	1.7	▲2,814	▲24.2
岩井温泉	7,149	1.2	8,527	1.2	▲1,378	▲16.2
浜村温泉	7,974	1.4	9,402	1.4	▲1,428	▲15.2
鹿野温泉	7,310	1.2	9,147	1.3	▲1,837	▲20.1
はわい温泉	43,279	7.3	62,704	9.1	▲19,425	▲31.0
東郷温泉	8,768	1.5	13,112	1.9	▲4,344	▲33.1
三朝温泉	198,977	33.7	246,244	35.8	▲47,267	▲19.2
関金温泉	16,137	2.7	13,413	2.0	+2,724	+20.3
皆生温泉	238,782	40.5	264,284	38.5	▲25,502	▲9.6
合計	589,597	100.0	686,886	100.0	▲97,289	▲14.2

(10) 外国人宿泊者客数

主要な20か国全てで令和2年と比較し減少しており、インバウンド受入停止はもとより、在住外国人による国内観光も緊急事態宣言等の影響を受けたと考えられる。

(単位：人泊、%)

年度	令和3年	令和2年	増減数	対前年比(%)
人数	11,030	34,350	▲23,320	▲67.9

※観光庁宿泊旅行統計調査(確定値)外国人延べ宿泊者数(宿泊施設従業者数10人未満の施設を含む。)

(11) 国籍別外国人延べ宿泊者数(確定値)(宿泊施設従業者数10人以上の施設のみ)

(単位:人泊、%)

国籍	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
香港	0	0.0	6,270	25.4	▲ 6,270	▲ 100.0
中国	310	6.4	5,440	22.1	▲ 5,130	▲ 94.3
台湾	50	1.0	3,310	13.4	▲ 3,260	▲ 98.5
ベトナム	590	12.3	2,090	8.5	▲ 1,500	▲ 71.8
アメリカ	300	6.2	780	3.2	▲ 480	▲ 61.5
韓国	50	1.0	590	2.4	▲ 540	▲ 91.5
タイ	90	1.9	530	2.2	▲ 440	▲ 83.0
イギリス	10	0.2	400	1.6	▲ 390	▲ 97.5
シンガポール	10	0.2	350	1.4	▲ 340	▲ 97.1
フィリピン	240	5.0	270	1.1	▲ 30	▲ 11.1
ドイツ	20	0.4	260	1.1	▲ 240	▲ 92.3
カナダ	10	0.2	220	0.9	▲ 210	▲ 95.5
オーストラリア	20	0.4	210	0.9	▲ 190	▲ 90.5
フランス	0	0.0	160	0.6	▲ 160	▲ 100.0
インドネシア	50	1.0	160	0.6	▲ 110	▲ 68.7
スペイン	40	0.8	140	0.6	▲ 100	▲ 71.4
マレーシア	0	0.0	120	0.5	▲ 120	▲ 100.0
ロシア	10	0.2	90	0.4	▲ 80	▲ 88.9
インド	20	0.4	80	0.3	▲ 60	▲ 75.0
イタリア	0	0.0	50	0.2	▲ 50	▲ 100.0
その他	2,980	62.0	3,080	12.5	▲ 100	▲ 3.2
不明	10	0.2	40	0.2	▲ 30	▲ 75.0
合計	4,810	100.0	24,640	100.0	▲ 19,830	▲ 80.5

(12) 日帰宿泊・費目別一人当たり観光消費額単価

観光消費額単価は県外・県内客、日帰り・宿泊の各区分とも令和2年と比較し増加した。各区分とも土産代に係る増加が大きく、プレミアムクーポンによる購入効果があったと考えられる。

(単位:円)

区分	項目	県外客			県内客		
		令和3年	令和2年	増減額	令和3年	令和2年	増減額
日帰	交通費	843	849	▲6	402	417	▲15
	飲食代	2,014	1,984	+30	1,306	1,277	+29
	土産代	5,816	5,770	+46	4,876	4,846	+30
	計	8,673	8,603	+70	6,584	6,540	+44
宿泊	宿泊費	15,196	15,085	+111	14,167	14,430	▲263
	交通費	1,801	1,759	+42	800	806	▲6
	飲食代	4,284	4,093	+191	3,349	2,663	+686
	土産代	8,213	7,653	+560	6,214	4,985	+1,229
	計	29,494	28,590	+904	24,530	22,884	+1,646